

さま

ご意見箱にお寄せいただきましたご要望について、回答いたします。

- 1 **校門が坂になっていて危ない。校門を出たところの歩道は狭く、自転車や歩行者が多い。校門を出る前に歩道の状況がわからず、危険と感じた。**

下校時の児童の安全に関して、お答えいたします。下校時、児童は小さな門から出て下校しますが、内開きのオートロックのドアであり、必ずいったん止まってから歩道にでることとなっています。今までご心配のような事故は起こっていないものの、今後とも児童に対しての校門を出る際の注意喚起も含め、下校時の安全について徹底してまいります。

- 2 **校舎は主に土足のため、汚く感じた。1階で履き替えさせてほしい**

佃西小学校は、教室の前で履き替える仕様となっております。佃南小学校は、1階入り口で履き替える仕様となっております。

佃西小学校を佃南小学校と同じ仕様に変更するには、1階に下足室を確保するための大規模な工事が予想されるため、困難でございます。

なお、佃南小学校は、平成26年度まで佃西小学校と同じように教室前で履き替える仕様でした。児童数の減少により、平成27年度から、1階スペースを活用して現在の仕様に変更となっております。

- 3 **教室の前の下駄箱が統一されていない。木でできた古びた下駄箱はどうなんだろうと思った。**

学校設備については、破損等が生じた場合に、改修等を行っております。

下足箱については、破損等が生じた場合に、改修等を行うこととしております。

- 4 **いきいきの教室が狭い。夏休みなど人数が多い場合は多目的室を使用しているみたいですが、上の階と下の階にわかれるのはどうなのかなあと思う。**

現在佃西小学校のいきいき活動室は北校舎の1階にございますが、隣は図工室であり活動室として使用することはできません。「児童いきいき放課後事業」は空き教室を活用して行う事業であり、学校が多目的室を使用していないときには多目的室を活用して活動を行っております。統合後については児童数が増えることが見込まれますので、多目的室をさらに活用してまいります。上下階に分かれて活動しているいきいき活動室は珍しいものではなく、佃小学校でも1階、2階で分かれて活動しておりますが、指導員数を増員するなどの対応を行うことで大きな問題はなく活動しております。

- 5 **職員室前の外廊下は違和感を感じた。どしゃ降りや横殴りの雨の日は傘をさして通るのか。**

強い横殴りの雨の日は廊下の半分くらいまで雨が入りますが、傘をさして通ることはありません。そういった日は、2階以上を使って移動いたします。

## 6 全体的に暗い。特に階段

校舎の構造や向き、建築年などの違いにより、佃西小学校と佃南小学校を単純比較するのは困難ですが、11月22日の午後に、両校において照度の計測を行いました。

各校の廊下前の計測結果は、自然光での状態で約250ルクスであり、学校環境衛生の基準の範囲内（75から300ルクス）でありました。

## 7 保健室が陰気くさい。パッと見、保健室だとわからない。

佃西小学校と佃南小学校の保健室はほぼ同じ仕様となっております。受ける印象については個人差もあり、校舎の構造や向き、建築年などの違いにより一概に比較はできません。

## 8 廊下がせまい

大阪市における校舎建築にあたり廊下の標準的な仕様は、壁の中心から測った廊下幅2.45メートルとなっております。

佃西小学校の廊下幅は2.45メートル、佃南小学校の廊下幅も2.45メートルであり、佃西小学校が特段狭いわけではございません。

ただし、佃南小学校の図書室がある体育館上の3階部分は両側に教室があり、片側のみの教室がある仕様よりも広くとる必要があるため、佃西小学校よりも広い箇所はありますが、校舎の構造上、単純比較することが困難です。

※ 建築基準法施行令119条による廊下幅（有効幅）は、小学校、中学校、高等学校又は中等教育学校における児童用又は生徒用のものについては、両側に居室がある場合2.3mその他の廊下の場合（片側に居室がある場合）1.8m必要となります。

## 9 佃南と合併すると教室が足らなくなるため、他のことで使っている教室を空けないといけないとおっしゃっていた

現在、生活科室・整備室・児童会室・資料室となっている4教室を普通教室に転換する改修工事を行うこととしています。

## 10 プールの工事や体育館の屋根の修復を行う話や、佃西小学校は古いので建て替えが必要など噂がありますが、ちょこちょこ修復するのであれば、建て替えてほしいです。佃小学校も人数が減ってきているし、将来を見据えて建て替えをお願いしたいです。

平成25年11月に政府全体の取り組みとして、トータルコストの縮減や予算の平準化を図るため、「インフラ長寿命化基本計画」が策定されました。本市においても「大阪市学校施設マネジメント基本計画」を策定し、これまで築60年程度で建替えを行ってきましたが、今後は築40年頃に躯体の補強や大規模な改造を行う長寿命化改修を実施することで、築80年程度まで延命化する手法に転換していくこととしています。

校舎の建て替えについては、現在のところ困難であります。